

16 国際ロータリー第2820地区 古河ロータリークラブ週報



2021-2022 坪野 潔年度 クラブテーマ
「社会や・地域に貢献し・
クラブライフを楽しもう」



雪の結晶を観察する古河藩主土井利位(模型)

2021-2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



2021-2022年度
国際ロータリー第2820地区
新井 和雄 ガバナー



地区スローガン

“Think Globally, Act Locally”
地球の未来を想い地域社会に貢献しましょう

- 設立：1966年(昭和41年)7月7日
RI加盟承認 1966年8月30日(754番)
スポンサークラブ土浦南ロータリークラブ
初代会長 井上 延太郎、幹事 岩崎 清
- 事務所：〒329-0111 野木町丸林550-6 町田 晴彦
TEL:(0280)55-0271 FAX:(0280)56-0091
e-mail:info@tohokutochi.com
- 例会場：〒306-0023 古河市本町1-3-9
常陽銀行 古河支店 3階
TEL:(0280)32-3131(代表)
〈臨時例会場〉ザ・カナルハウス
- 例会日：毎週金曜日(第5金曜日は無し)
- 会長：坪野 潔(56代)
- 幹事：町田 晴彦
- 会員数：正会員55名
- 発行：雑誌・会報委員会 前田 美代子 委員長
e-mail:maeda-miyoko@eagle.ocn.ne.jp
- 公式HP：<https://koga-rotary.org/>

第2651回例会 2022年3月11日(金)

本日の例会プログラム
○ 2・3月の月初めのお祝い

次回の例会プログラム 3月 18日(金)
○ 超短縮例会
(各委員長報告・幹事報告・会長の時間のみ)

第2650回 地区補助事業 「はなもも苗木植樹」

第2650回 移動例会 2022年3月4日(金) プログラム 「はなもも苗木植樹贈呈式」

社会奉仕委員会（五十嵐順委員長）事業の一環として古河公方公園に「はなもも苗木30本」が寄付され、3月4日(金)晴れ渡る青空のもと贈呈式が行われ、新井和雄ガバナー、早瀬浩一地区幹事、針谷力古河市長にご臨席を賜り、終始なごやかな雰囲気の中で執り行われました。

贈呈式後には、野村利夫ガバナー補佐案内による新井ガバナーの公方公園内散策も行われ、当クラブが創立10周年の際に寄贈した四阿や、これまでに寄贈した歴代のはなももを大変熱心にご覧いただきました。

また、この事業に関しご尽力をいただいた古河市役所都市計画課の皆様にも感謝申し上げます。

はなもも苗木植樹の趣旨

坪野潔年度、社会奉仕委員会では地球環境保全の推進や社会環境整備の観点から2820地区補助金を頂き古河公方公園内に「はなももの苗木植樹」を行います。

古河市民憩いの場であり春の桃まつりにおいては観光客の皆さんで賑わう公方公園に植樹をすることは、古河ロータリークラブにとっても意義ある事と考えます。

出席者あいさつ

古河ロータリークラブ 会長 坪野 潔



皆さんこんにちは。本日は国際ロータリー第2820地区新井和雄ガバナーをお迎えして今期の古河ロータリークラブの事業であります「はなもも2000本運動」としてはなももを贈呈いたします。

この事業はロータリー財団の補助のもと、SDGsの「緑の豊かさを守ろう」という趣旨にのっとり企画いたしました。ロータリークラブは世界中にある社会奉仕団体で世界に奉仕をしております。特に力を入れておりますのが、「ポリオ撲滅」です。もう少しで世界からポリオがなくなりそうです。それまで世界中のロータリアンはがんばります。

また、地域に奉仕するというのも重要ですので、今回の事業を計画しました。古河公方公園では以前は今よりたくさんのはなももが植栽されておりました。以前にも古河ロータリークラブでは、はなももを寄贈してまいりましたが、最近は少し減少傾向にありました。そこで「はなもも2000本計画」

として今回寄贈させていただくことになりました。このことにより、古河公方公園は緑の豊かさと古河市民の憩いの場として楽しんでもらえるものと思います。また観光にも寄与し市外からの観光客の増加も図られ市の活性化にも繋がるものと思います。

まだまだ、2000本には届きませんが、これからも引き続き奉仕できればと思います。本日はありがとうございました。

国際ロータリー第2820地区ガバナー 新井 和雄 様



皆さんこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました今年度ガバナーを仰せつかっております、新井でございます。年度を始めるにあたりまして

皆さんにお示しした地区のスローガンは“Think Globally, Act Locally”です。グローバルに考えて地域社会に貢献しようという目標をたてさせていただきました。これは、気候変動が深刻な状況になっている、そしてそれが将来大災害を引き起こす可能性があるということで我々もグローバルな環境を考えながら地域社会に貢献しようということです。今日はそのAct Locallyの末端につながる古河ロータリークラブが活動の拠点としているこの古河公方公園にはなももの植樹をするということです。Co2が温暖化の主な原因と言われていますが、その吸収源はこうした緑による吸収と海洋による吸収ですが、去年は地区内55クラブみんなで海岸の清掃を行い、また世界が呼応をしてくれて世界中で同じ日に245のクラブが市民と一緒に海岸の清掃を行いました。R.I.会長の挨拶の中で「このような活動はロータリークラブ116年の歴史の中で初めてのことだ」とおっしゃっていただきました。そしてその件を10月5日韓国で行われた国際大会で私は発表をさせていただきました。その時たまたま真鍋叔郎先生がノーベル物理学賞の受賞が発表された日でありました。会場にそのニュースが流れ、私の発表も会場の皆さんが興味深く聞いてくれました。思い出深い国際大会になったのを未だに思い出しております。

そして坪野会長と公式訪問の際対面で詳しい話し合いができると思っていたのですが、残念ながら感染状況が悪化している時でしたのでリモートでの公式訪問となりました。しかし必ずいつか古河ロータリークラブを訪れて対面でお話をさせていただくという約束をさせていただいて、今日こうして実現できてしかも私の年度の目標にさせてい

ただいた環境保全を率いる現場でお会いすることができて皆さんともお会いすることができて非常に光栄です。そしてもう一つThink Globallyの先にある9月12日ウクライナ黒海の沿岸でゴミ拾いをしてくれたルーツィクロータリークラブからSOSが来ています。「まさかヨーロッパのど真ん中でこんな戦争が21世紀に起こるとは思ってもいなかった」と書いてありました。なんとかこれに手を差し伸べたいと思っております。皆さんのクラブにも寄付をお願いすることになります。環境問題は媒介するのは空気と水です。簡単に国境を越えてしまいます。そのため国家の安全保障では解決できないのです。日本だけが良い環境になることはできません。みんなが、世界中が、一つにならないと地球環境は解決できない問題です。しかし活動するのは本日の様にそれぞれが地域社会の貢献する事でそれを達成することができるということです。どうか本年度残り半分ありませんが、“Think Globally, Act Locally”世界を考えながら地域社会に貢献してまいりましょう！

皆さん頑張ってまいりましょう！本日はおめでとうございました。

国際ロータリー第2820地区 第4分區

ガバナー補佐 野村 利夫 様



日頃はロータリークラブ活動にご理解とご協力をいただいております古河市役所の皆さんにお集まりいただき、すばらしい贈呈式を迎えさせていただきましたことを大変嬉しく思っております。

私は古河市坂東市境町五霞町の二市二町をテリトリーとするロータリークラブ今年度の責任者としてご挨拶をさせていただきます。先ほどご挨拶をいただいたガバナーとは茨城県内55のロータリークラブの中でトップの方であります。ガバナーのお話にもありました通り、特に今年は環境保全、環境問題を中心に考えようと行動をしております。4月10日境町河川敷を清掃する5つのクラブが協力をしながら清掃奉仕活動を行い地域社会にゴミのない街を実現しようという啓蒙活動を計画しております。この機会にぜひ多くの方にご参加をいただきましてこの清掃活動に参加をしていただければありがたいと思います。本日は2000本のはなももをこの公方公園に復活させたいという大きな思いの中での贈呈式です。ぜひ古河市民の皆さまの一本でも多く、このはなももが増えますことをご祈念申し上げましてごあいさつに代えさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。



古河市長 針谷 力 様



皆さんこんにちは。本日は古河ロータリークラブ様によるはなもも贈呈式ということで、今日はお天気も素晴らしい日となりました。昨日までは風が強かったのですが、この現場で盛大に贈呈式が行えますこと、非常に感謝申し上げます。また古河ロータリークラブさんにおかれましては古河市政全般に様々な形でのご支援をいただいております。古河市はSDGs宣言都市であり、パートナーとしての第一号が古河ロータリークラブさんです。先ほどのガバナーのお話にもありました通り、地球全体でそして環境問題について考えながらさらに地域貢献というお話がありました。まさに公方公園にはなもも2000本計画というのは古河市にとって素晴らしい意義のある事業であると確信をしております。21日からは桃まつりも始まります。残念なことにコロナ禍のため盛大にはいきませんが今回いただいたはなももを含め多くの市民の皆さん、市外からのお客様をお迎えすることができるのではないかと期待しております。本日は大変ありがとうございました。



古河市役所 都市計画課の皆様



創立10周年記念時に寄贈をした四阿にて



はなもも植樹の様子

植樹施工者のフルヤ緑販株式会社（古河市東山田4260-1）代表取締役社長古谷孝行様にお話を伺いました。

◆今回植樹をした苗木の樹齢は？

約5年自社で育成をしました。当社生産品の中で一番良いものを納めさせていただきましたので自信をもってお勧めさせていただきます。

◆はなももを元気に育てるコツは？

ハナモモの花は前年の夏に育ちます。4月に剪定することにより枝分かれして多くの花芽をつけてくれますので、適度な剪定をお勧めいたします。また、公方公園ははなももの公園として昔から市民に親しまれていますが、何十年も同じ場所に同じ植物が植えられているため、土地に疲れが出てきます。いわゆる農業用語で「嫌地（イヤチ）」と言われ、特定の植物が同じ土壌養分を吸収するために樹勢が悪くなることをいいます。成長の基本となる土壌の改良が公方公園のはなももを元気に育てる解決策と考えます。

◆古谷さんは樹木医とうかがいました。

樹木医についてお聞かせください。

現在、樹木医は国内に約3000人、県内に55人、その他台湾や韓国にいます。

天然記念物に指定されるような巨樹、名木、老木から、公園や植物園、街路、個人庭園などの樹木を診断、治療を行います。今にも死にそうだった老木が見事に再生した時の感激は大きいです。また、樹木そのものの治療ばかりでなく、植樹のバランスや剪定の仕方、土壌の管理など、周囲の環境への配慮も行います。以前は、樹木管理や造園業などの多くは男性が行っていましたが、樹木医の資格ができてから女性の進出が増えています。

◆具体的な施工実績を教えてください。

古河市立上辺見小学校「タイサンボク」、茨城県国指定名称及び天然記念物「桜川のサクラ」、群馬県国指定名称及び天然記念物「三波川サクラ」、山梨県国指定天然記念物「神代サクラ」、茨城県指定記念物「杳掛の大樺」、「小蓋宮の大樺」などの樹木調査や樹勢回復作業です。その他、台湾国台北ドーム樹木移植技術指導も行いました。

◆今後の展望や夢をお聞かせください。

後輩の育成を図りながら、自己向上を目指し人の役に立つことを行っていきたいと考えております。



苗木の正面を決める古谷社長



今回植樹をしていただいた苗木は枝ぶりが見事なものばかりで、新井ガバナーもお喜びでした。また、樹木には美しい花芽を見せるための「正面」があるとのこと、植え付けの際に細かな角度調整や枝の剪定を行っていらっしゃいました。

なお、広報古河3月号に古谷さんのインタビュー記事が掲載されております。合わせてご覧ください。